

東日本大震災の中でのカタクリガイド

小林 義和（千葉市）

本年度のカタクリ案内は、3月11日に発生した未曾有の東日本大震災の影響が色濃く残る中での開催となりました。昭和の森での自然観察会も3月13日の定期観察会を急遽中止し、4月予定されていた親子観察会を中止する中で、カタクリ案内業務をひっそりと行いました。本年度はあまり派手にならないようにとの配慮から、現地近くでの展示を中止して、カタクリの花を直接観察しながらの案内に限って行いました。

来客数のカウントも行いませんでしたが、駐車場の駐車車両数から推定すると例年の半数くらいであったのかと推定しています。出来るだけ早くに震災からの復興を願っています。

1. 実施日および観察者、指導員数

実施日	観察者数	指導員数
4月1日(金)	カウントせず	4名
4月2日(土)	カウントせず	4名
4月3日(日)	カウントせず	3名
4月8日(金)	カウントせず	4名
4月9日(土)	雨天の為中止	1名
4月10日(日)	カウントせず	4名
計5日間		計25名



2. 考察

- 1.) 開花時期は平年並みで昨年に比べると約1週間遅い開花となりました。
案内初日の4月1日に漸く開花して来園の皆様にほぼ満足いただけるレベルとなりました。
- 2.) 調整池設置に伴い移植されたカタクリ（9年経過）は今年も順調に開花しました。落ちた種子の発芽が良く、1年目・2年目の幼い葉が沢山出ているので今後の生育に期待します。
- 3.) 中菖蒲田側の開花数が樹木伐採による環境改善が行われた効果が現れ徐々に増加しました。
特に東側に安定した増加が見られ斜面の上の方にも分布域が広がっている状況が確認されました。
- 4.) カタクリ、イカリソウ以外の移植植物は今年も開花していません。ツクバトリカブト、キバナアキギリ、イカリソウ、ヒトリシズ等の幼生が沢山見られ、また、アズマヒキガエルの卵塊、トウキヨウサンショウウオの卵塊、サワガニも観察され豊かな自然が保全されている様子が伺われます。
- 5.) 中菖蒲田に設置された真中の桟橋はカタクリの観察にはよいと思われるが、不心得者による柵内への侵入後が沢山見られる。侵入しての盗掘や写真の撮影が行われているのではと危惧いたします。
- 6.) 東側に設置した桟橋では、近くに見られるカタクリの観察やまた写真撮影の絶好なポイントとして来園者の好評を得ました。
- 7.) 移植対象地に隣接した地域（調整池堤防の脇）に自生しているカタクリの開花を今年も確認しました。今後の環境整備を行い、移植カタクリと同様重視し保護・保全を継続します。